

NPO (特定非営利活動) 法人 笠岡を元気にする会

本会は、2012年5月に結成され、同年9月12日にNPO法人の認証を受けました。
活動の視点を、笠岡の元気を創る“まちおこし”とし、特に、①島、②農村、③商店街、④干拓の活性化支援を行い、同時に社会的弱者の方々の“さいごの砦”“駆け込み寺”として、会員のみなさん方と力を合わせて、生活相談を強めていきたいと思ひます。

元気会 〒714-0085 笠岡市四番町3-20 TEL 63-0911 HP <http://kasaoka-genkikai.com>
 (「元気会」の事務所は、笠岡グランドホテル正面です 気軽にお立ち寄りください)

No.101 2020年10月1日発行

コロナに負けずみんなで元気を創ろう 紅白カラオケ歌謡フェス

無観客
イベント

笠岡放送は
12月6日(日)放映

コロナ禍の中で、家に閉じこもりがちな方、経営に影響が出た方など、マイナス要因が増していますが、せめて、精神面だけでも支えられたらと、楽しいひとときを歌の力で創ろうと、カラオケ連盟、老人会、笠岡放送、元気会で制作します。



みんなで元気を出そうと、応援出場・出演して下さったみなさま方は別紙のとおりこの歌謡フェスには笠岡駅前“木乃新”さんの絶大ご後援、ご協力をいただいています。

日本遺産笠岡諸島 啓発推進事業第一号

六島・飛島の旅へ 大喜び40人!

天野産業さんと 中国銀行さんが 連名にて

六島が日本遺産に追加認定されたことにより笠岡諸島丸ごと日本遺産に。それを記念しての啓発推進事業ツアー第一号として、元気会が9月25日に企画しました。



飛島では地域おこしの堂野さんからお話を

島の方々も大歓迎

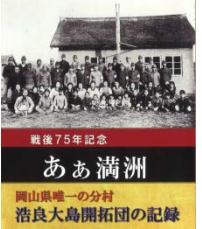
SDGs 私債活用寄付
元気会・三洋へ
20万円
地域福祉に特別なご配慮を頂き、ありがとうございます。
緊急保護活動などの支援金として10月2日にご寄付をいただきます。

いつもいつもありがとうございます

ああ満州

ぜひお読み下さい
岡山県唯一の分村として、大島の方々
満州へ開拓団として…
その困難克服の開拓魂を綴る。

歴史の証本
浩良大島開拓団の記録
(笠岡市拓友会発行)



開拓団校長
原田満左右さん(亡)
の長女
伊藤明子さんの綴
(部数に限りあり
元気会で貸出可です)

高島も頑張ってるぞ!



石の島として日本遺産となりましたが、高島は神武東遷地としても観光作戦に力を入れています。手作りで巨大な神武像作成中、高島にもみんなで行こう!



共同募金

10月1日から赤い羽根

福祉活動応援資金としての共同募金活動赤い羽根が開始です。元気会も大変お世話になっています。



元気会は、ハピーズ店頭で

コロナの中で中止のイベント

万全対応で 開催のイベント

残念ですが中止です

やりますよ!

- 例年9月予定の島の運動会
- 例年駅伝シーズンの開幕を告げていた実業団べいふあーむ駅伝

- 10月18日(日) あの四角佳子(六文銭)がやってくる スサギ通り カフェ・ド萌 2,500円
- 10月23日(金) ことぶき大学民謡発表会 キャラクターホール
- 11月1日(日) ファミリーウォーキング大会 太陽の広場

これはすごい! 出前葬儀車! 「絆」さんが移動葬儀車を配車



来年4月から

近くに葬儀場が無い。日程が取れない。長時間移動が出来ない。自宅で葬儀はしたい — などの場合に、いつでも、どこでも来てくれる葬儀の出前車。

詳しくは別添参照

農業大好きな方に 農業塾

体験と交流希望の方
毎月第2土曜
9時から2時間
今回は10月10日



農業委員さんが優しく指導

急募



毛布ふとん シーツ・枕

綺麗なもので余ったのありませんか?
— 緊急保護などの泊に使用します —

前田副理事長 グランドゴルフ大会を激励



9月29日の総合
グランドでの
開催を大激励

こちらマイクロバス 元気号もどうぞ!



元気会が会員
用として保有
する、28人乗
りのマイクロ



(会員共有車・元気号)

バス、絶好調です。コロナ禍ですが予防万全で、行楽シーズンご活用下さい。(実費のみ)

ご利用は 63-0911 (早い順)

サア-いくら入ってるでしょう

BMXオリンピック代表の長迫吉拓選手に役立って欲しいと、ある篤志家が写真のカメ(高さ11cm、入り口径11cm)に500円玉をギッシリ。長迫募金さて、いくら入っているでしょう。正解に最も近い方に、長迫バラ差し上げます。



TEL 63-0911

あなたも、応援募金を!

9月の集え〜る・ひまわり

笑いは長寿の秘訣・健康体操
絶好調毎週金曜日のマイクロバスの旅



9月8日、美星の星空公園。美味しい空気を満喫

9月11日、総社の最上稲荷。伏見、豊川と並ぶ日本三大稲荷前でハイチーズ。

9月18日、世羅のトウフ屋さんへ。湯豆腐定食に話が弾む。

神島のサンロック集え〜るメンバーが、このカレーを定期的に飲んでいる

連載

元気かい? 生活相談



泣き笑いの秘話 No.7

元気会生活相談活動の中から、
“暮らしの谷間を埋める”
紹介シリーズ 今回は **“緊急保護”**

熱帯夜から急に夜が涼しくなり、近づくと秋を感じるようになった9月後半。

そろそろ寝るかと思う夜10時前。

携帯電話が鳴る。包括支援センターのN君からだ。今頃何だと思ひながら電話に出ると、「精神病の40歳代男が暴れて、家族に暴力を振るい、今、家族が逃げています。警察署に3人保護されて居ますが、今夜、どうかして欲しいんです」と、くる。

アリリヤ。これは大変と、警察署へかっ飛ばしてみると、おじいちゃん、おばあちゃん、殴られたという妹の三人がジョンボリ。

「心配せんでエー。今日はウチへ泊まりやエエからナア」と言うと、殴られた妹が、「その前に家に帰りたい」という。

警察もビックリ! 何故?

「着の身着のまま逃げたので、着替えに化粧品に、それに食卓も片付けんと。その間、警察の人は私を守っておいて」とくる。

警察の人も私も開いた口が……。

「アンタネー。警察は用心棒じゃネエヨ。私も旅館業や商売してるんじゃネエヨ。緊急保護で困ってるというから飛んで来たんじゃ。着の身着のままを保護するのが俺たちなんよ。ゴメンヨ、アンタラ、それ程余裕があるんなら、どこかのホテルに泊まりなさい!」と、思わず一発。

何となく気づいたのか、妹も“すみません。お願いします”と。

それからが大変。

「おい、緊急泊まりが3人。フン敷いて、風呂のボイラー入れといて。タオルがいるぞ。女性もいるから、化粧落としがあれば準備してくれ」と、こちらも緊急連絡で緊急準備。

翌日、暴力“弟”は、医療保護入院ということで施設へ入り、宿泊者3人は、我が家へ帰って行きましたとさ。

一泊3人で、1200円をいただきました。ハイ。